

## デザインの構成要素・様式・調査を通して関係性を考える

美術教育・千代田憲子

### 1. 授業の概要

本授業は、1年次後期に実施している専門教育科目の選択科目であり、デザイン分野の基礎科目であるデザイン基礎演習(学校教育実践コース)とベーシックデザイン(造形芸術コース)の知識面を補完する科目として密接に関連している。

今期の受講生数は学校教育実践コース(美術)1年生1名と造形芸術コース1年生9名の計10名である。

#### <授業の目的>

デザインの構成要素と様式や概念を、背景である社会や生活との関連の上で捉える。

#### <到達目標>

(1) 構成要素である色彩・形態・素材について概説できる。

(2) デザインに関する調査を行い、視覚的な表現を用いてまとめて発表する。

(3) デザインの様式や現状の諸問題に対する関心を深める。

#### <関連するディプロマ・ポリシー>

学校教育実践コース(美術):教科・教職に関する確かな知識と、得意とする分野の専門的知識を修得している。(知識・理解)

造形芸術コース:造形芸術全般にわたる確かな知識と、得意とする分野における高度な専門的知識を修得している。(知識・理解)

#### <授業の方法など>

まず、構成要素の色彩・形態・材質感について、テキストや作例を参考にしながら理解を深める。次に、デザインの様式に触れる。終盤は、デザインの現状とこれからについて、デザインの抱える問題を考える。

第1回 ガイダンス 概説とデザインの分野について

第2回 構成要素 色彩1 テキストに基づきながら進む。作業や実験なども行う。

第3回 構成要素 色彩2

第4回 構成要素 色彩3

第5回 構成要素 形態 テキストや作例を参考にしながら、理解を深める。

第6回 構成要素 素材 テキストや作例を参考にしながら、理解を深める。

第7回 デザインの様式1 文献資料や年表により産業革命後の近代デザインから現代のデザインに触れる。

第8回 デザインの様式2 スライド資料1

第9回 デザインの様式3 スライド資料2

第10回 デザインの現状とこれから1 デザインの背景と周辺環境に、今後の展望をまじえながら、幅広い視点で考える。

第11回 デザインの現状とこれから2 意匠権(資料:産業財産権標準テキスト[意匠編])

第12回 デザインに関する調査1 撮影調査

第13回 デザインに関する調査2 結果のまとめをデザインの構成要素に考慮してプレゼンテーションボードを作成する。

第14回 発表

第15回 発表

#### <今年度意識した取り組み>

構成要素においては、色コマや配色カード等の教材を用いた確認や、ルーペを用いて印刷面や材質感の確認などを適宜行った。また、パッケージや小物を持ち寄り、実際の配色と色チップ上のイメージの違いなど、実生活との関連による理解の促進をはかった。

### 2. アンケート結果(8名/自由表記)

#### ①教室の状態や受講環境について

- ・特に問題ない。
- ・問題ない。
- ・丁度良い。
- ・少人数で丁度良い。
- ・いつもきれいで少人数なので意欲的になれる。
- ・席が足りない、前が見えにくい時がある。

#### ②色彩についての演習課題に対する感想

- ・以前は感覚で判断していたが、色彩を選ぶ

考え方を学べた。

- ・大変だけど色を選んで並べることは楽しい。
- ・切り貼りに苦戦したが、組み合わせを考えるのは楽しくできた。
- ・作業は面倒だが、色について深く考えた。
- ・色彩の複雑さが良くわかった。
- ・後々使える良い資料ができた。
- ・配色を、生活に活かせるようになった。
- ・服や商品を見る時に良く考えることができるようになった。

③デザインの様式のスライドショーに対する感想

- ・世界中の土地や気候や考え方に合う様々なデザインを見て楽しかった。
- ・デザインの変遷や多様性が見えてきて面白かった。
- ・これまでのデザインの変化が良くわかった。
- ・デザインには多くの要素が含まれているので、それがマッチしている時に一番輝くものだった。
- ・自分にはない発想のものが見られて面白く、ためになった。

④デザインサーベイ(街路の景観調査とプレゼンテーションボード制作と発表)に対する感想

- ・店が表したいものが街路の景観に合っていると限らず、きれいな街路だからこそ悪目立ちすることがわかった。
- ・計画的に順調に制作出来て、学んだことを活かせる達成感があった。
- ・作る前は不安だったが、どんどんアイデアが出てきて、思ったものに近づけた。
- ・新しい視点で物事を見ることが出来て、デザインを深く考えた。
- ・制作を進めるうちに楽しくなって、色んな発見ができた。
- ・調査により、受け手の目線の違いで印象が変化することを実感した。
- ・調査で街に行くと、多くの新しい発見や疑問があり、楽しく取り組めた。
- ・どこから手を付けて良いか迷った。

⑤この授業の良かったところ

- ・発表で制作者の考えを聞き、意見交換で考えや視野が広がった。
- ・皆で3色配色を持ち寄るのは勉強になったし、実践的なのでずっと覚えていると感じる。
- ・色に対する知識や感性、デザインの中心部分に触れた気がした。

・色の配色の際に、普段目にはしているものも良く考えた結果なのだった。

- ・先輩の作品がたくさん見られたこと。
- ・学んだことをまとめとして活かせること。
- ・当たり前に見ていたデザインを様々な視点から見ることができ、楽しかった。

⑥ この授業の改善点や取り組みたい課題

- ・小さな作品を数多くするようにシフトしてほしい。

⑦授業後のアップ率:およその目安

技術 15-60%・考え方 10-80%・感性が 10-75%アップしていたとの回答があり、平均はそれぞれ 42%・56%・54%である。

⑧モチベーション:およその目安

後半にかけて上昇した者 4名・維持 3名・下降 1名であり、平均は前半 66%・後半 71%、である。また、5名はプレゼンテーションボードの制作を 80-90%のモチベーションで行えたが、3名は 40-50%との回答で、平均は 71%であった。

3. 「授業時間外学習の促進」について

ほぼ1週おき(第2・4・6・11・12・13回)に、次週のために必要なテキストやプリントの演習課題や資料の準備を時間外学習とした。

4. 総括

〈アンケート結果を踏まえた、次年度への改善点〉

配色例を持ち寄ることは、主体的な実践であり時間外学習としても効果的なので更に工夫して継続したい。また、撮影調査の結果とまとめの検討を行う際に、準備の遅れがプレゼンテーションボード制作のモチベーションに影響すると思われるので、更なる対応が必要である。なお、授業や課題の内容が一部に伝わっていないことへの対応を検討したい。〈授業の目的、到達目標、関連 DP を踏まえた総括〉

デザイン概論は、デザインの基礎から応用科目であるコンピュータデザイン演習やビジュアルデザイン I・II(選択科目)やデザイン課題研究へつなぐ科目として重要であるが、未履修者が応用科目を履修した場合の対応も今後の検討課題である。デザイン概論で取り上げる各項目の背後には、専門分野が広く深く存在することを繰り返し伝えて、真に主体的な学習への入り口としたい。